

傾聴ボランティア 岩見沢で活動広がる

【岩見沢】高齢者や認知症患者に寄り添おうと、岩見沢の市民有志が傾聴ボランティアサークル「ニコニコ」(13人)を立ち上げ、昨年からの勉強会を続けている。同サークルが協力する市社会福祉協議会主催の傾聴ボランティア養成講座の参加者も増加傾向にあり、ニコニコのメンバーは「受講生を中心に会員を増やし、需要に応えられる団体になりたい」と意気込んでいる。(鹿内朗代)



話を聞く 心に寄り添う



2人1組で互いの話を聞き合う養成講座の受講生たち

「話を聞くだけで、スリッパをスタート。初年度トレスがたまると」。「自分の心の余裕も大事だよ」。今年20日、岩見沢広域総合福祉センターに、ニコニコの会員が集まった。月1回の定例会で、「傾聴」について日頃の悩みを話し合っ

傾聴ボランティアは文字通り、相手の話を傾け、心理的不安を解消する活動。普及活動を行うNPO法人ホールファミリーケア協会(東京)によると、1978年に米国でカウンセリングとして行われたのが始まりという。日本では京都ノートルダム女子大の村田久行特任教授が20年ほど前に提唱し、全国に広まった。空知管内では美唄にもサークルがある。

岩見沢でも高齢化で需要が高まっているとして、市社協が12年に養成講座(4

- ・相手の話をさえぎらない
- ・相づちを打つ、うなづく
- ・相手の話に反論や批判、否定はしない
- ・相手の気持ちに共感する
- ・安易に励まさず、気持ちを受け止める

傾聴を行う時のポイント



受講生の様子を見守る講師の川本さん(奥)

「相手のことを理解 自己成長に」 札幌の介護施設・川本所長

岩見沢市社協の傾聴ボランティア養成講座は年1回、4日間にわたって開かれる。講師は小規模多機能型居宅介護センター支心(札幌)所長の川本俊憲さん(67)。今年20日に始まった今年の講座の様子と、傾聴のポイントを紹介する。

「『傾聴』は相手の心を支えるた

概要を学んだら、早速2人1組で練習を開始。「『聞くぞ』という気持ちになつて」と助言を受け、交互に5分ずつ「好きな遊び」の話を聞く。Aさん「鬼ごっこが好きでした」聞き役「鬼ごっこが好きだったんですか」Aさん「空き地で近所の友達と」相手と1分ほどの距離を置き、視線を同じ高さにする。川本さんによると、できるだけ「うん」という返事はせず、相手の言った言葉の中か

高齢者や認知症患者相手「需要に応えたい」

足。会員数は約50人で年間延べ300件のボランティア実績を持つ。20日に開かれたニコニコの定例会には、アクティブの佐々木綾子代表(58)と浜田哲夫さん(63)が参加。ニコニコ会員の「相手との相性も大事では」との質問には、佐々木さんが「(相性によって)ボランティアを代えることはある。初回は数人で相手方を訪ね、最終的にその中から1人を選ぶやり方もあります」と助言した。



前田市長に寄付を手渡す木下さん(中央)

「教育に活用を」市に80万円寄付

【滝川】2000年に閉校した滝川北高の同窓会(松儀功会長)は16日、学校教育に役立ててほしいと、市に80万円を寄付した。【滝川】2000年に閉校した滝川北高の同窓会(松儀功会長)は16日、学校教育に役立ててほしいと、市に80万円を寄付した。会員の高齢化のため同窓会が4月16日付で解散、余剰金を寄付することにした。特に地元に戻元したい

そらち日誌

2年前に別のLCC会社を利用した際にも驚いたことがあった。この会社では関西空港の搭

LCCに乗って大慌て

街頭で「TPP反対を」滝川 農協関係者ら呼びかけ



【滝川】たきかわ農協、滝川市農協協議会などは19日、市内本町のAコープたきかわ店前で、環太平洋連携協定(TPP)参加に反対する街頭啓発を行った。TPPは大詰め交渉が続いており、JA北海道中央会などが各地で一斉行動を呼びかけている。

Aコープ前日から約2時間、協職員ら約30人「TPPはあんな題です」と書かれたTシャツやティッシュを買い物客に連発した。【三笠】市は